

令和 5 年度 かすみがうら子ども大学(前期)第 1 回授業(6/24)

「勉強ってなんのためにするの？」

講師:かすみがうら市歴史博物館 館長 千葉 隆司 氏

【質問】 下稲吉小学校 4 年生

先生は、茨城県またはかすみがうら市のどのようなところがほこらしいと思いますか？

【回答】

茨城県そしてかすみがうら市は、他の地域に比べて自然の恵みが豊かなところが誇りです。米・野菜・果物(茨城県の農産物出荷額は、毎年全国 2 位か 3 位)、魚(漁獲高も全国上位ランク)、肉(畜産業も全国上位ランク)など、食べ物は何でもある(種類が豊富)、何でもできる(気候が安定、適度な降水量などから第一次産業が豊か)からです。こんなところは、日本中探しても茨城か千葉だけです。この食べ物が何でもある理由は、また授業でもしてお話しするか、みなさま自身が調べて(わからないことがあれば博物館に来てください)みてください。この理由が分かると茨城県やかすみがうら市から離れたくなくなります。そして、食べ物が豊かということは、安定した生活(暮らし)ができるということです。ここが重要！安定した生活は、世界中の人間、誰もが求めるものですが、中々安定した生活を送れている地域はごく一部です。そのために、各国々では努力したり、他の国から協力してもらって生産できるようになったり、どうしてもないものは貿易で取り寄せたりして、安定した生活をするために日々頑張っています。茨城県は、自然の恵みを多大に利用した加工業(第二次産業)も盛んにおこなわれているので、野菜だったら漬物や豆腐や冷凍食品や…、お魚だったら干物や缶詰や調理されインスタント食品…、お肉だったらハムやベーコンやソーセージなどなど…といったように食べやすく、長期保存ができるものも当たり前のように生産でき、とにかく毎日の食に事欠がなく、そして栄養面でも十分な摂取が簡単にでき、健やかな人間の成長もできる場所です(食べすぎには注意しなければなりません)。

みなさんも、自由研究や独自の研究などで、是非茨城県やかすみがうら市と他の都道府県、他の国々の第一次産業や第二次産業、食文化などで比較する調べ学習をしてみてください。茨城県やかすみがうら市の底力を知ることとなると思います。調べ方などが分からないときは、博物館に来てください。それでは、これからも勉強、スポーツバランスよく頑張ってください！

千葉隆司

【感想】 霞ヶ浦南小学校 6 年生

何のために勉強をして、何で日本はよくなっていった理由がよく分かりました。人間しかできないことや、成長期のことや歴史のことも分かっていい授業だと思いました。ありがとうございました。